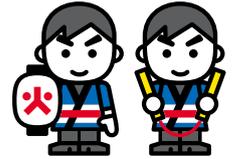


火災の無い一年を目指して



火災の多くは「ついうっかり」や「ちょっとなら大丈夫」などの気の緩みから発生しています。一年のスタートとともに防火に対する意識を新たにされ、火災の無い明るい一年を過ごされますよう、今後とも防火にご協力をお願いします。

さて、別海消防団と消防署では、防火意識の高揚と住宅火災による死傷者の発生を予防することを目的として、70歳以上で1人暮らしをされている世帯への防火訪問を2016年から3カ年計画で実施しました。

今回、訪問調査した結果、住宅用火災警報器の設置率が72%と、全国平均の82%より下回っていました。

また、設置が必要な場所は、寝室および寝室が2階の場合は階段天井ですが、任意設置である居間や台所のみには設置され、設置が必要な場所には設置されていない場合や、電池切れのものもありました。

本町でも、住宅用火災警報器のおかげで早期発見することができ、初期消火に成功して火災に至らなかった事例もあります。

大切な命を守るため住宅用火災警報器の設置場所や電池切れ等について、いま一度ご確認をお願いします。

問合せ／予防課 TEL75-2200

中春別農業協同組合が 根室北部消防事務組合消防団協力事業所に認定



中春別農業協同組合（小湊 保 代表理事組合長）が、根室北部消防事務組合消防団協力事業所の認定を受け、12月3日に根室北部消防事務組合 西村 穰 組合長から表示証が交付されました。

消防団協力事業所表示制度は地域の消防・防災体制の充実強化の推進を図るために制定されたもので、中春別農業協同組合が根室管内4町で初めての認定となります。

中春別農業協同組合には8名の消防団員が在籍しており、各種災害時の対応への協力など、消防団活動に積極的な支援をいただいています。

問合せ／管理課 TEL75-0230

水道の凍結等は、指定店へ相談を

水道の凍結や漏水等でお困りの際は、下記の別海町指定給水装置工事業者に相談してください。

指定店名	連絡先	指定店名	連絡先
協和建設工業(株) (別海旭町)	75-2240	阪口水道 (中春別)	76-2977
中島電器商会設備工事部 (別海旭町)	75-2513	高和設備工業(株) (中標津町)	73-2711
木嶋プロパン (別海寿町)	75-3242	(株)三和設備工業 (中標津町)	72-1548
(有)星山設備工業 (別海常盤町)	75-3968	(株)ナカセツ (中標津町)	77-9442
畠沢ほっけん(株) (別海緑町)	75-2423	渡辺配管(株) (中標津町)	72-8577
(株)ほくえい (別海)	75-3498	奥村工業(株) (中標津町)	72-3814
(有)住友設備工業 (西春別駅前)	77-2463	(有)細谷設備 (中標津町)	78-2626
(株)竹崎工業 (西春別駅前)	77-2144	(株)ホクショウ設備 (標津町)	85-2552
(株)高橋工業 (中春別)	76-2046	(株)渡部設備 (標津町)	82-2722

問合せ／管理担当 (内線4513)

別海町 特別支援教育支援員 を募集します

本町では、特別な支援を必要とする子どもへの介助や授業支援を行う「別海町特別支援教育支援員」を募集しています。

必ずしも教育や介護の資格が必要ではありませんので、子どもが好きな方の応募をお待ちしています。すぐに働ける方、4月から働きたい方も大歓迎です。

履歴書をご提出いただき、面接の上、決定します。



■仕事内容

支援が必要な子どもの教育活動の支援や生活支援
幼稚園や学校行事の支援

■勤務時間

月曜日から金曜日 午前8時から午後4時45分

※運動会などの行事の際には、土日勤務をお願いする場合があります。

※出勤日数や勤務時間は相談に応じます。

■給 与 【有資格者】 日額 7,100円から

【資格なし】 日額 6,500円から

※上記は7時間45分勤務の場合の金額です。勤務時間を短縮した場合、金額が下がります。

■勤務場所

町立認定こども園（幼稚園型）、小学校、中学校

問合せ／総務担当（内線3611）

就学援助制度入学準備金申請の受付締め切り日のお知らせ

平成30年11月から申請を受け付けている本制度は、**1月31日(木)**で申請の受け付けを締め切ります。平成31年度に小学校へ入学し、入学準備金の援助を希望する方は、就学時健康診断の案内と一緒に配付している本制度案内文書をご確認の上、下記担当か各支所、各連絡事務所まで申請書等を提出してください。

問合せ／学校教育・適正化等担当（内線3512）

スポーツセンターだより

冬場の体づくり 歩くスキー教室

ふるさとの森の冬景色を楽しみながら、歩くスキーで冬場の体づくりをしませんか。

■日 時 1月21日(月)、28日(月)、2月12日(火)
午前10時から午前11時30分

■集 合 町民体育館玄関前 ■参加料 無料

■持ち物 歩くスキー用具一式、手袋、帽子等

※スキー用具一式はレンタルできますので、申し込み時に靴のサイズをお知らせください。

■締切日 1月15日(火)

申込み・問合せ **別海町総合スポーツセンター**

TEL 75-2882 FAX 75-0418 Eメール sports@betsukai-pf.or.jp

お申し込みの際は、氏名、年齢、住所、電話番号をお伝えください。

スポーツセンターから

自宅でできる 冬のエクササイズ教室

運動不足になりがちな冬に、自宅でできる運動を紹介します。

■日 時 2月4日(月)、18日(月)
午後2時から午後3時

■会 場 町民温水プール

■講 師 田中こずえ氏（日本バレエ協会所属 ジャズダンス、バレエサークル指導経験者）

■参加料 無料

■持ち物 上靴、汗拭きタオル、飲み物

■締切日 2月1日(金)

雪の広場で運動会

親子で遊ぼうゆきあそび

対象は3歳以上の未就学児とその保護者です。一緒に雪の上で運動会に参加しませんか。参加者にはプレゼントがあります。

■日 時 2月10日(日) 午前10時から午前11時30分

■定 員 10名程度 ■会 場 町民温水プール横広場

■参加料 無料 ■締切日 2月2日(土)

■持ち物 スノーシューズ、もしくは長靴、帽子、手袋等の防寒具

※保険の加入は各自でお願いします。

※保護者については父母、祖父母に限らず18歳以上の責任能力のある方とします。

申込み・問合せ **別海町民温水プール** TEL 75-2325 FAX 75-0418

保護者とお子さんの名前、年齢、住所、電話番号をお伝えください。

学力向上に向けて 読書活動とNIEの推進

1 はじめに

国際化や情報化が進み、将来の変化を予測することが困難な時代を前に「2030年の社会」(※1)と、さらにその先を見通し、文部科学省では、平成32年度の小学校における本格実施を皮切りに、中学校では平成33年度、高等学校では平成34年度から、全ての学校教育の基となる「新学習指導要領」を実施します。

※1 2030年には、少子高齢化がさらに進行し、65歳以上の割合が総人口の3割になる一方、生産年齢人口は6割以下になると見込まれています。また、人工知能(AI)等の発達により、子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就くとの予測や、今後10年から20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高いなどの予測があり、国際化や情報化といった変化は「全ての子どもたちの生き方に影響するものである」という認識に立った検討が必要とされます。

【参考 文部科学省 2030年の社会と子供たちの未来】

また「大学入試制度」の見直しが現在検討されているように「学力」の定義が変わってきており、知識や技能だけではなく、思考力や判断力、表現力、そして学ぶ姿勢や人間性を含めたものが、今後の「学力」として求められるとされています。

2 生き抜く力アッププロジェクトについて

そのような中、本町の子どもたちの実態を捉え、本町の将来を担う子どもたちのために、平成29年度から第2期となる「生き抜く力アッププロジェクト事業」に取り組んでおり、本年度から「読書活動」と「NIE」(※2)を重点的に取り組んでいます。

※2 NIEとは新聞を教育活動の中に取り入れる活動です。(※News In Education)

3 学力向上の取り組みについて

本町では「言葉の力」が全ての学習を支えると捉え「学びの土台」として「読書活動」と新聞を学習に活用する「NIE」を推進しています。特に、子どもたちに必要な力である「読解力」については「読書」と「NIE」の両方に取り組むことで、相互効果が高まり、読解力が身に付くといわれています。

(1) 読書活動の推進について

町内各校では、朝読書に取り組むとともに、町図書館の職員や地域の「読み聞かせサークル」等と協力し、子どもたちが通いたくなるような「魅力ある図書室」づくりに努めています。

また、たくさん本を読んだ児童、生徒を表彰するなど多読の取り組みを進めている学校もあります。

さらに、第2期から実施している、町内全小中学校の子どもたちが集う



別海中央小学校の「たくさん読んだで賞」の表彰



小学校のチャンプ本に選ばれた上風連小学校の紹介

第2期生き抜く力アッププロジェクト

学力向上

- ・読書教育とNIE
- ・表現の場の工夫・充実
- ・学びのTゾーンに基づく自学力を育む授業改善
- ・「みんなでやろうぜ!家庭学習WEEK」の拡大と定着

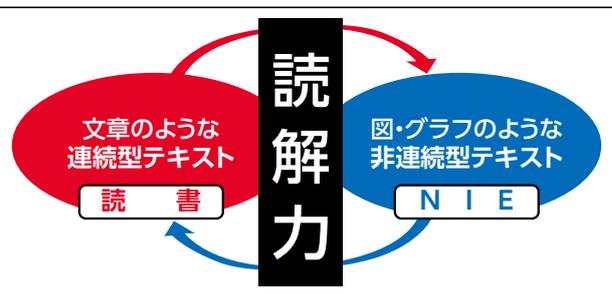
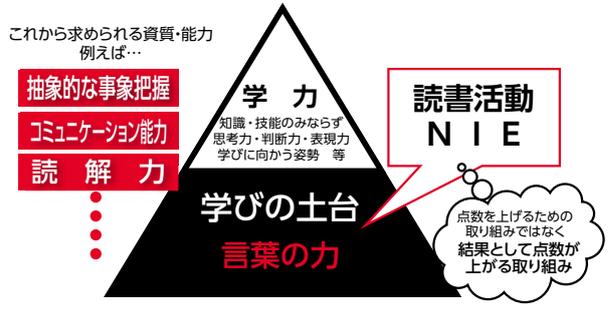
生活・体力向上

- ・体力づくりの推進
- ・「スイッチOFF22 生活変えよう未来を変えよう」の拡大と定着
- ・給食一品「まごは(わ)やさしい」レシピコンテストの拡大

教師力向上

- ・秋田県横手市教育実践調査
- ・スーパーティーチャー研修会
- ・日常授業改善のための研修内容のブラッシュアップ

別海町子ども会議



「別海町子ども会議」において、本年度が初めての取り組みとなる「別海町ビブリオバトル（※3）」を開催しました。

どの学校も、工夫のある表現力豊かな紹介を行い、参加者による投票の結果、小学校の部では上風連小学校、中学校の部では上風連中学校の紹介した本が接戦を制し「別海町チャンプ本」に選ばれました。

ビブリオバトルで紹介された本はポスターにまとめ、各校へ配布し、読書活動の啓発に活用します。

※3 別海町ビブリオバトルとは、参加者が町内の小中学生に読んでほしい本を選び、5分間でその本の魅力を紹介し、全員の発表後「読みたくなった本」への投票が一番多かった本を「チャンプ本」とする書評合戦です。

(2)新聞を学習に活用する「NIE」を推進

本年度4月から町内全小中学校に新聞架台を配置するとともに、ワークシートが充実している全国紙を配布し「NIE」を推進しています。

各校では、子どもたちが新聞に親しみやすいように新聞架台の設置に工夫を凝らしています。

また、授業や朝の取り組みの中で新聞社が発行しているワークシートを活用し、新聞記事を読み取り「読解力」を高める取り組み等を行っています。



上春別中学校の新聞コーナー



中学校のチャンプ本に選ばれた上風連中学校の紹介



上春別小学校の新聞コーナー



上西春別中学校のNIEコーナー

まるまる 協力隊の〇〇な話

倉持龍太郎



今年は何んだか暖かい日が続くなぁなんて思っていたら、突然の大雪、吹雪に目の前が真っ暗になりました。相変わらず冬の運転は苦手で、着任一年目の冬のトラウマが頭の中を駆け巡ります。

さて、以前移住者の方にインタビュー取材をさせていただいた時のこと。

「美しい星空や自然はあくまで雑誌などの掲載写真の世界で作られたのだと思っていました。でも道東で本物の自然の美しさを体験してから、興味を持つようになったんですよ」とお聞きしました。

都会暮らしだと「どこそこにおいしいお店が新しくできた」とか「こんなイベントがドームである」などの「普段の生活の外」にある情報ばかりを集めて、すぐ目の前にある物事への興味が薄くなりがちです。

お話を伺って、自分が北海道での生活を始めたばかりの頃、星空のあまりのきれいさに感動した記憶がよみがえりました。

もちろん生活を楽しむ上で、そういった外部の情報というのはとても大切なことでもありますが、身近なものに目を向けることで新しい発見をする。そんなことを気付かせてもらった体験でした。

